弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため，患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので，お知らせいたします。

臨床研究名称：　胆管癌神経内浸潤の予後検討

研究の目的

胆管癌は生命予後が他癌腫と比較して短く、治療成績の向上は今後の課題です。胆管癌の生命予後に寄与する因子として、神経に癌細胞が巻き付く（神経周囲浸潤）が挙げられます。さらに神経周囲浸潤に分類されるものの中には、一部で神経の中に入り込む（神経内浸潤）パターンが観察され、この神経内浸潤は他の癌腫において神経周囲浸潤の中でも生命予後が短くなることが報告されています。我々はこの神経内浸潤に着目し、胆管癌の神経内浸潤を来す症例の特徴を当院での過去の手術症例から検討することで、胆管癌が神経内浸潤を伴う症例で生命予後が短くなることを検討し、さらに病理学的所見（顕微鏡を用いた観察）との関連性を検討することで、神経内浸潤をきたす方の特徴を明らかにすることを目的としています。

研究実施期間：　実施許可日　～　令和 8 年 3 月 31 日

対象となる方：　2010 年 4 月から 2024 年 12 月に当科において胆管癌に対して手術をされた方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合，提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

通常診療の範囲内で得られた既存の試料・情報を使用します。新たに検査や治療を追加するものではありません。当院のカルテを利用し，病歴，年齢，性別，血液検査，画像検査，手術関連情報，切除組織の病理所見，術後経過についての情報を収集し，標記研究課題実施のために利用します。また、既存の試料を用いて神経周囲浸潤、神経内浸潤の有無を解析します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は，以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除

外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科　消化器外科学講座　大学院生 小笠原　健太　電話 0172-39-5079